

地域の皆様に小規模多機能型居宅介護
アップルを紹介する小規模地域交流誌



平成24年7月19日発行
医療法人北寿会
グループ
介護老人保健施設
通所介護
パワースタディ
居宅介護支援事業者
クリニック
訪問介護
福祉用具貸与・販売
小規模多機能型居宅介護

小規模アップルだより

「バラ園での素敵な時間」

六月三日（日）曇り。今日はバラの花で有名な「霊山寺」へおでかけする日です。前もって告知していたこともあり、非常に楽しみにされている方もおられ、中には普段より少しオシャレをしている利用者様の姿も。

いざ霊山寺へ出発

見頃を迎えた「バラ園」へ到着。園内に入ると、赤・黄・白と色とりどりのバラが咲いていて、利用者から思わず「うわあ、きれい！」と声が上がります。鼻を近づけて花の香りを楽しんだり、思わず見とれてしまう利用者もおられ、ゆつたりとした素敵な時間が流れました。



もうひとつの楽しみ



バラ鑑賞の後には、もう一つの楽しみである園内のオーブンカフェでのティータイム。バラの花の形をしたケーキやアイスクリーム、そしてローズテイラー。それぞれが好みの物をご注文。普段は大きなアイスクリームをペロリと食べられましたが、最後の恒例の記念撮影。

当施設ではこうした外出等のレクリエーションをした際に撮影した写真を、当日のご利用者様の連絡ノートに張り付けて、ご家族様にも見ていただくようにしています。後日それを見て大変喜んでいただき、感謝の言葉を寄せて下さるご家族様もおられます。

今日もいい写真がたくさん撮れました。どの利用者様の顔もいきいきと目輝いていました。写真に写った利用者様の笑顔を見ていた時は、こちらの顔も思わずほころびいい活力をいただける瞬間でもあります。（ケアワーカー 片江武文）

「施設行事紹介（園芸）」

「花と野菜と果物の苗植」

五月の上旬、利用者様と一緒に園芸をしました。色とりどりの花の苗があり、種類も豊富にありました。「こはれが私に植える」「私が植える」などの声も聞かれました。土に触れる事が大好きな方もおられ、スコップを手に持ち、この時ばかりとはりきっておられました。花の他にも野菜や果物の苗を植えました。晴れたら三時のおやつです。幸い晴天に恵まれたので、さわやかな五月の風に吹かれながら、お外で食べました。和やかな雰囲気の中で、私達職員と共にお話がはずみました。



五月の中旬には、イチゴが実をつけました。まだ青い所もありましたが、立派な実がなりました。収穫をするのもご利用者の様にしたいので、おやつにのロールケーキのトッピングに、イチゴを乗せました。少し酸っぱかったですが、取り立てのみずみずしいお味が口いっぱいに広がり、おいしいと好評でした。



（ケアワーカー 植野智栄）

シリーズ 訪問日記

ご夫妻二人暮らしのお宅に訪問に伺っています。お二人共に高齢なので歩くのもしんどい様子ですが、助け合いながら暮らしておられます。職員の仕事は、注射の見守り、服薬確認、買い物などです。一週間に二度、小規模アップルにて宿泊していただき、入浴介助とお洗濯をさせていただきます。また、隣接するクリニックにも受診され、お薬の処方を受けておられます。医師は、当アップルの理事長でもあるので、安心して受診していただけます。同じ並びに、歯科・皮膚科もあります。何かあれば受診していただけて、心配することなく暮らしていただくとおっしゃいます。お二人とも明るく頑張っておられるので、いつまでもお元気で長生きしていただきたいと思っております。

小規模多機能型居宅介護アップル



介護老人保健施設アップル学園前

そもそも

小規模多機能型施設とは

「施設の安心を自宅でも可能に」

介護が必要になっても、自宅の近くに、安心して「通う」場所があり、必要に応じて「宿泊」ができ、緊急時や夜間でも訪問してくれるといった、「二四時間・三六五日の安心」があれば、介護のため自宅を離れるのではなく、これまでどおり住み慣れた場所です。暮らし続けることができるのではないのでしょうか。

そんな高齢者の願いから生まれたのが、平成十八年四月の介護保険制度改正で新設された地域密着型サービスの一つである「小規模多機能型居宅介護」です。

小規模多機能型居宅介護施設の特徴

① 本人本位の支援

小規模多機能型居宅介護の主体は利用者であり、利用者のニーズに基づいて柔軟性と応用力のあるサービスを提供するところに最大の特徴があります。高齢者の気持ちに引き合い、寄り添いながら支援することを大切にし、本人の思いや希望を受け止め、それを叶える方法を考えます。

② 継続的支援

二四時間三六五日、切れ目ない支援で利用者の暮らしを支えます。「お世話する」のではなく「生きることを支援する」という姿勢で、本人ができること、できる可能性があることに着目して、本人の本来の能力を生かし、馴染みの職員による継続的な生活の支援を行います。

③ 地域で暮らし続けることへの支援

介護が必要な状態になっても、本人がこれまで培ってきた家族や地域社会との関係の継続を大切に、住み慣れた風景、行き交う人たちのふれあい、軒先や縁側に訪ねてくれる知人などと共に暮らせること、それが小規模多機能型居宅介護の醍醐味です。

④ 地域との支えあい

事業所も地域住民の一員。地域に溶け込み、地元活動への参加や多様な地域資源の活用、積み上げてきた認知症ケアの実践経験の還元など、地域と支え、支えられる関係が地域密着型サービスの鍵になります。地域との支えあいが利用者のより豊かで当たり前の暮らしを具現化します。

小規模の費用について

一月あたりのご利用料金は、左表の介護保険一部負担金と、下段の食事や宿泊費などのその他料金を足し合わせたものになります。

介護保険一部負担金（月あたり）

要介護度	金額
要支援1	5,349円
要支援2	9,145円
要介護1	13,595円
要介護2	18,864円
要介護3	26,356円
要介護4	28,844円
要介護5	31,560円

※上記介護保険一部負担金は、初期加算、認知症加算の有無などによって異なります。

その他料金（一部負担金以外）

サービス内容・回数、ご本人・家族の希望を踏まえ、必要なものを、必要に応じて提供させていただきます。

より使いやすく宿泊費を値下げ！
8月より一泊5000円から
3500円へ変更へ！

	項目	金額
泊まり	朝食代	330円
	夕食代	700円
	宿泊費（1泊につき）	3,500円
通い	昼食代（おやつ込み）	850円
	日用生活品費	200円
	教養娯楽費	200円

※これらの料金（宿泊費等）は利用回数に応じて加算されます。

利用料金（例）

ご利用は「通い」を中心として「泊まり」「訪問」のサービスを、ご希望に応じて柔軟に組み合わせご利用頂けます。左記のご利用の場合は左下の料金となります。

スケジュールカレンダー

1泊	2泊	3泊	4	5	6	7
8通	9	10通	11	12通	13	14訪
15通	16	17通	18	19通	20	21訪
22泊	23泊	24泊	25	26	27	28訪
29通	30	31通				

（要介護度2の場合）
 介護保険一部負担金：18,864円
 泊まり6回、通い12回
 訪問3回、朝食6回、昼食12回、
 夕食6回での加算料金：42,180円
 合計 61,044円

居宅サービスの利用を検討される場合は…

まず、訪問、通所、ショートステイを別々の事業所に依頼する形態を望むのか、それとも「通い」（デイサービス）を中心に、「泊まり」（ショートステイ）、「訪問」といった三つのサービスを一つ事業所が提供する小規模多機能型居宅介護を選択するのか、ご検討されることをお勧めします。

ご検討の際は、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所のみならず、小規模多機能のケアマネにも見学を兼ねてぜひご相談ください。きつと選択肢の幅が広がります。

※小規模多機能型居宅介護のケアプランを立案するのは、地域包括支援センターの担当者や居宅介護支援事業所のケアマネジャーではなく、小規模多機能型居宅介護に所属するケアマネとなります。いつもご利用者と接する施設のケアマネが親身になってケアプランを作成します。

【問い合わせ先】

どのようなしたら利用できるか、利用料金など、気軽にどうぞ。
 小規模アップル 0742-52-9191（小杉）

『職員募集』

○訪問登録ヘルパー（パート）
 資格：ヘルパー2級以上
 時給：1000円
 アップル学園前 0742-51-2200
 （担当 平岡）